

未来エネルギーシンポジウム

主催 東京都市大学／早稲田大学共同原子力専攻

共催 東京都市大学 工学部原子力安全工学科，都市工学科

— 巨大地震に備えるリスク評価・耐震技術 —

2013年11月25日(月) 13時15分～17時(開場12時45分)

渋谷エクセルホテル東急 プラネッツルーム(6階)

原子力関連施設の安全性を確保するためには、
今後予想される様々な自然の脅威に対して、何をするべきか？
重要施設や社会インフラ設備・構築物の
今後の耐震安全確保のあり方について考える。



画像提供：東京電力

- 参加費 : 無料
- 参加申込み :
 - ①氏名②所属③役職④メールアドレス
 - ⑤電話番号を下記メールアドレスまで
- 申込み締切 : 11/18, 定員150名

時間	講演題目	講演者
13:15-13:20	開催挨拶	北澤宏一 東京都市大学 学長
13:20-13:50	原子力施設のリスク評価の社会的ニーズとリスク・耐震工学コースの設立	平野光将 (独)原子力安全基盤機構 技術顧問
13:50-14:30	原子力施設のリスク評価の方法と東京都市大学における最近の研究	村松健 東京都市大学大学院共同原子力専攻 特任教授
14:30-15:10	地震・津波に対する原子力施設のリスク評価と地域防災の実践	蛭澤勝三 (独)原子力安全基盤機構 理事 東京都市大学 客員教授
15:10-15:20	休憩	
15:20-16:00	建築分野におけるリスク評価の意義	高田毅士 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 教授
16:00-16:40	社会基盤施設の耐震技術の原点：性能照査型耐震設計と地震リスク評価	吉川弘道 東京都市大学工学部都市工学科教授
16:40-17:00	総括(含む総合討論・質疑応答)	藤本滋 東京都市大学大学院共同原子力専攻 教授



JR東日本，東急東横線，田園都市線
東京メトロ銀座線(GO1)，半蔵門線(ZO1)，
副都心線(F16)渋谷駅直結
京王井の頭線 渋谷駅上部